

秋田大学大学院教育学研究科

心理教育実践専攻

令和7年度（第Ⅱ期）入学試験問題

心 理 学

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が3ページ、解答用紙が4ページあります。
- 3 問題は4題あります。4題すべてに解答しなさい。
- 4 問題冊子(問題用紙と解答用紙)の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号をすべての受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

臨床心理学 問題 I

児童虐待と愛着の関係について、次の3つの概念を用いて説明しなさい。

- ① Ainsworth と Main による愛着の4つの型
- ② 内的作業モデル
- ③ 虐待の世代間連鎖

臨床心理学 問題 II

問 1

学校現場で働くスクールカウンセラーの基本的な業務内容と求められる役割について述べなさい。

問 2

以下の事例において、スクールカウンセラーとしてどのような支援ができると考えられるか論じなさい。この事例の現段階での見立てについて記述した上で、収集すべき情報や連携についても具体的に記述すること。なお、この事例は架空のものである。

ある中学校では、遅刻や欠席をする生徒が増加している。中学2年生のAさんも、夏休み明けから遅刻や欠席が増えてきた。学校では明らかに元気がなく、授業中も集中していない様子で、頭痛や腹痛を訴えて早退することもあった。担任からは、以前に比べて友人とも疎遠になっているように見えた。Aさんの様子が気になった担任は個別にAさんに話を聞いたが、具体的なことはわからなかった。朝、なかなか起きてこないAさんに保護者もどのように対応してよいかわからず困っている様子であった。

11月になり、担任は週に1回学校に来ているスクールカウンセラーにAさんのことについて相談をした。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題 I」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題 I

以下の問いに答えなさい。

問 1

「学校教員へのストレス・マネジメント支援」をテーマとし、PECO または PICO フレームワークを使用してリサーチクエスチョンを作成しなさい。作成したリサーチクエスチョンについては、各要素（Patient, Exposure / Intervention, Comparison, Outcome）を明確に定義しなさい。

問 2

問 1 で作成したリサーチクエスチョンを FINER 基準 (Feasible, Interesting, Novel, Ethical, Relevant) に基づいて評価し、各基準を満たすために必要な作業や注意点を具体的に論じなさい。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題 II」へ続く)

心理学 問題用紙

心理学の基礎的領域 問題Ⅱ

問1

下にあげる研究者について、最も関連する用語と内容を表のなかに記号で書き入れなさい。

研究者

Gustav Fechner

John Broadus Watson

Max Wertheimer

Wilhelm Wundt

用語

ア. ゲシュタルト心理学

イ. 行動主義心理学

ウ. 精神物理学

エ. 内観法

内容

A. S と R の対応関係

B. こころの部分と全体

C. 刺激と感覚の対応関係の法則化

D. 最も初期の心理学実験室の開設

問2

問1で答えた関連をもとに、研究者の名前、用語、内容をすべて使用して「科学としての心理学の歴史的な展開」について説明しなさい。

